

令和3年度事業報告

公益目的事業

I. 環境整備等助成事業

1 伎芸奨励事業

(1) 伎芸奨励事業

伝統伎芸従事者の更なる活動と後継者の育成を奨励するため、65歳以上の経験豊かな芸妓に対し、伎芸に必要な道具の購入や自己研鑽、研修等に役立てていただくための伎芸奨励金を交付した。

(審査委員会で審査)

	65歳以上	70歳以上	80歳以上	合計
奨励金	8万円	10万円	13万円	
受給者数	2名	9名	12名	23名

※例年、年2回交付しているが、令和3年度は予算の都合上、1回のみの支給とした。

(2) 芸妓支援事業

伝統伎芸の保存継承や後継者育成に資するため、若手芸妓の支援策として、伎芸に用いる衣裳や帯の新調に対して、補助を行った。

(審査委員会で審査)

歌舞会名	前期	後期	人数
祇園甲部	0名	1名	1名

(3) 衣裳等貸与事業

花街の伝統伎芸を保存継承するため、「をどりの発表会」に用いる着物を制作した。

制作した衣裳：着物26着

衣裳を使用した催し：第72回京おどり（令和4年4月2日～13日）

2 伎芸研修等助成

伝統伎芸の保存継承や後継者の育成を行うため、各歌舞会の学校での研修事業に対して助成を行った。

(審査委員会で審査)

3 伝統行事参加助成

京都の伝統行事である「かにかくに祭」への参加に対し、祇園甲部歌舞会に助成を行った。

(審査委員会で審査)

4 環境整備事業

花街の環境を保存継承していくため、祇園東のお稽古場の屋根瓦の取替工事に対して、補助を行った。(審査委員会で審査)

補助金額：3,406,008円

また、令和元年10月17日から祇園甲部歌舞練場耐震改修工事のための寄附金を引き続き募集した。

寄附総額：615,206,797円 (令和4年3月31日現在)

寄附件数：1,247件 (")

5 祇園小唄祭事業

昭和の名曲で五花街にゆかりある『祇園小唄』に感謝するため、「祇園小唄祭」を実施した。令和3年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染予防対策として、観覧者の密集を避けるために、舞妓の参加を取りやめるなど、規模を縮小して開催した。

日 時：令和3年11月23日(火・祝) 午前10時～

場 所：円山公園 祇園小唄石碑前

参加者：財団・花街関係者 計3名



6 舞妓の故郷帰り支援事業

舞妓の伎芸の向上と伝統伎芸の魅力を発信するため、舞妓姿で成人式に参加し、舞踊を披露する舞妓の支援を行った。

舞 妓	歌舞会名	日にち・会場
市すず	上七軒	令和4年1月10日(月・祝) 京都市勧業館みやこめっせ



「七福神」を披露する市すずさん



ふじ千代さん、ふみ苑さんも加わり、「梅にも春」を披露

II. 五花街合同公演事業

五花街の芸妓舞妓の日頃の研鑽の発表の場として各歌舞会の芸妓舞妓が一堂に会して演目を披露する合同公演「第28回 都の賑い」を開催した。また、京都市の「まちじゅう文化芸術事業」の委託を受け、若手の芸妓舞妓を中心とした「五花街の初秋」を開催し、全国の花街ファンを始め、多くの人々に京都の伝統伎芸を広く紹介し、愛好者の拡大に努めた。

(1) 第28回京都五花街合同公演「都の賑い」

実施日時：令和3年6月26日（土）・27日（日）11時00分～・15時00分～

会場：南座

出演者数：71名（芸妓51名 舞妓20名）

観客数：2,143名

(2) 五花街の初秋

実施日時：令和3年9月3日（金）12時30分～・15時00分～

会場：ロームシアター京都 サウスホール

出演者数：53名（芸妓40名 舞妓13名）

観客数：802名

オンライン配信視聴者数：455名

III. ギオンコーナー事業

弥栄会館改修工事に伴いギオンコーナーは休館したが、勸修小学校運営協議会からの要望に応じ、ギオンコーナーの演目である雅楽の出張公演を実施した。

実施日：令和3年7月14日（水）

会場：勸修小学校

参加者数：勸修小学校の5・6年生 約170名

実施内容：雅楽の説明・楽器説明および楽器演奏体験・「蘭陵王」の鑑賞



蘭陵王の鑑賞



楽器の演奏体験

IV. 受託事業等（派遣事業）

行政や関係団体からの依頼に基づき芸妓舞妓の派遣を行い、伝統伎芸を通じて花街文化を発信した。

派遣を行った主な催事

- 第118回西日本経済同友会会員合同懇談会（令和3年10月15日）
- 京都名産品協同組合オンライン博覧会『京ものEXPO』（令和3年10月26日）
- 京ものぎょうさん市（令和3年11月20日・21日）

- 西陣デジタル申告・納税宣言式（令和3年11月25日）
- Kyoto Steam-世界文化交流祭-（令和3年12月26日）
- 京都経済4団体賀詞交歓会（令和4年1月5日）
- 「京の冬の旅キャンペーン」全国宣伝販売促進会議 意見交換会（令和4年3月8日）



西日本経済同友会会員合同懇談会で「上七軒夜曲」を披露する上七軒の芸妓さん、舞妓さん



KYOTO-STEAM世界文化交流祭で「祇園小唄・鴨川小唄」を披露する先斗町の舞妓さん

V. 広報事業

1. SNS を通じての情報発信

ホームページやツイッター、インスタグラムを通じて財団事業の告知を行った。

2. 五花街の「をどりの会」の広報

五花街が実施する春秋の舞踊公演について、財団「友の会」の会報誌『はんなり』やホームページに掲載を行い、PR 活動に努めた。

3. 小中学生対象の普及・広報活動

「ほんまもんの京都を親子で体験」と題し、次代の文化の担い手である子どもたちが、花街の伝統文化や伝統伎芸に対して理解を深めることやその魅力を発見できるように、「観る・聴く・知る」をテーマにした広報プログラムを取り組んだ。※文化庁の補助金を活用

● 1回目

実施日：令和3年8月15日（日）

実施会場：八坂倶楽部・漢字ミュージアム

参加者数：59名（子ども30名、保護者29名）

実施内容：①祇園甲部の芸妓舞妓による京舞の鑑賞、質疑応答、記念撮影など

②雅楽の鑑賞と楽器体験

③華道の実演鑑賞と体験

④漢字の歴史やなりたちについて楽しみながら学習



京舞の鑑賞



華道の生け花体験



漢字を楽しく学習

● 2回目

実施日：令和4年1月30日（日）

実施会場：リーガロイヤルホテル京都

参加者数：68名（子ども36名、保護者32名）

実施内容：①宮川町の芸妓舞妓による舞踊の鑑賞、質疑応答、お座敷遊び体験など

②狂言の鑑賞

③箏曲、華道の鑑賞

④京扇子絵付け体験



芸妓さん舞妓さんの衣装の説明



狂言「柿山伏」の鑑賞



京扇子の絵付け体験

4. 「花街文化を支える職をめぐる新たな教育プログラムの造成事業」の実施

修学旅行生や外国人留学生が花街の伝統文化や花街を支える伝統産業を学び、新たな発見を与える教育旅行向けコンテンツを造成した。※観光庁補助金を活用

①修学旅行の事前学習用マンガとマップの制作



マンガ「京都・花街の文化」



花街の探索マップ

②修学旅行のモニターツアー

③インバウンドを見据えた在京都の日本語学校生徒等によるモニターツアー

※②と③については、まん延防止等重点措置が発令中のため中止し、代替として映像配信を行った。

【配信内容】

①上七軒歌舞練場と先斗町歌舞練場の案内

②花街に関連する伝統工芸品（西陣織、京丸うちわ、京くみひも）のお話とインタビュー

VI. その他

1. 「モーションキャプチャーデータを活用したアニメーション動画等による日本舞踊体験事業」の実施

子どもたちに花街の伝統文化についてICT(情報通信技術)を活用して体験する機会を提供し、次世代への花街文化の継承を図る取組を行った。

①日本舞踊の基礎知識についての学習コンテンツ・動画の配信

日本舞踊の歴史等の基礎知識を理解できるように動画を作成し、配信した。

②アニメーション動画等の配信

自宅で日本舞踊を体験できるように、
祇園甲部の舞妓さんによる「祇園小唄」
の動画と、井上安寿子師が舞う「祇園小唄」
をアニメーション化した動画を作成し、配信した。



モーションデータを
キャラクターに適用

③舞体験と動画投稿キャンペーンの実施

アニメーション化した「祇園小唄」を自宅で見ながら体験できるとともに、
自らが舞っている「祇園小唄」を投稿するキャンペーンを実施した。
投稿された動画は審査会で優秀者を選考するとともに、副賞として「都をどり
観覧券」を贈呈し、本物の花街文化に触れていただくきっかけ作りを行った。

2. 東海東京証券主催による衣装展の開催の協力

NPO 法人京都文化協会からの協力依頼により、東海東京証券が主催する花街の衣装展開催にあたり、芸妓舞妓の衣装や「をどり」の衣装等の提供を行った。

催事名：「芸妓舞妓に見る京都の美ー花街を彩る伝統の世界ー」

開催日：令和4年1月24日(月)～2月4日(金)

会場：大名古屋ビルヂング33階「Orque d'or (オルクドール)」

展示物：をどりの衣装(都をどり・京おどり・北野をどり)

芸妓舞妓の衣装(お稽古着・裾引き・黒紋付)

伝統工芸品(かんざし・うちわ・舞扇など)

ミニチュアの舞妓の髪型かつら(割れしのぶ・おふく・先筭)

溝縁ひろし氏の写真

備考：入場者数 約600名(東海東京証券の上顧客のみ入場可)



「をどり」の衣装の展示



溝縁ひろし氏の写真の展示

収益事業等

I. 五花街の夕べ事業

新型コロナウイルスの感染状況から、例年「都の賑い」公演終了後に実施している「五花街の夕べ」は中止したものの、感染状況が落ち着いている年末に一夜限りの宴を開催し、芸妓舞妓の出演機会を創出するとともに、花街のおもてなし文化の普及に努めた。

催事名：五花街の宴2021～芸妓舞妓の舞踊鑑賞&ディナー～

開催日時：令和3年12月25日（土）18時00分～

会場：京都ホテルオークラ「暁雲の間」

参加者数：249名

出演者数：36名（芸妓13名・舞妓23名）

内容：祇園東歌舞会による舞踊「姫三社」「京野菜」

芸妓舞妓紹介&トークコーナー

会食

お楽しみ抽選会

その他：和装でお越しいただいたお客様には花街オリジナルグッズを進呈



祇園東の舞妓さんによる「姫三社」



トークコーナー



会食時におもてなしする舞妓さん

II. 物販事業

「都の賑い」開催時に、演目解説や出演者等を掲載したプログラムの販売を行うとともに、扇子の老舗「白竹堂」様から150本販売用に寄贈いただいた扇子を販売した。



白竹堂様からご寄贈いただいた五花街の紋章入り扇子

Ⅲ. 友の会事業

財団の活動支援や伝統伎芸愛好者の裾野の拡大を目的に友の会を運営した。
(会員数：280名 ※令和4年3月末現在)

1. 芸妓舞妓写真撮影会

開催日：令和3年10月30日（土）

場 所：kokoka 国際交流会館

参加者数：41名



2. お茶屋の紹介・芸妓舞妓派遣

お茶屋の紹介 13件

主な芸妓舞妓派遣

- ・阪急電鉄「京とれいん雅洛」PR事業（令和3年4月4日）
- ・結婚披露宴への派遣（令和3年12月5日）
- ・KBS 京都テレビ「舞妓シンデレラ」（令和3年9月29日・11月2日・12月2日・
※毎月最終水曜日放送 12月20日・令和4年1月25日・3月10日）

3. 会報誌「はんなり」の発行

VOL.38（令和3年秋号）・VOL.39（令和4年春号）

※新型コロナウイルスの感染状況から、友の会の集い「おおきにパーティー」の実施は見合わせたが、「五花街の宴」の参加料を会員特典として優遇した。

その他事業

後継者募集

伝統伎芸の後継者である舞妓の募集を行うためホームページで告知し、希望者に対しては資料の配布や説明を行い、応募者を歌舞会に紹介した。（1件）